

二王子岳（6合目まで）山行記録



目的地	二王子岳	期 日	平成18年12月3日（日）
山人	笠原正雄ほか（計男6・女6名）	特 記	かしましイッチャン(K)の誘いに乗って出かける。

地名	(着)～(発)	天候	記 事
与 板	午前4:45 発	小雨	R8に行く。時間をみて新潟中央～新発田間高速利用。この際道を勘違いしてロスタイム。新発田市内で K に電話を入れる。南股から林道に上がると途中彼女らの先行車に追いつく。
二王子神社	6:50～7:25	〃	まだ、雪は積もって居なかった。間もなく小国山岳会から井上邦彦・横山両氏来る。自己紹介の後出発。単独男が先行して行った。
神子石	8:05	雪	杉林を行くとだんだん雪が道を覆って来る。この辺りからは、地面が見えなくなる。一度立ち止まり、数名が一枚脱ぐのを待つ。
一王子小屋	8:30	〃	全くの雪道となる。小屋の土間に入り、小休止し、態勢を立て直す。歩き出して間もなくカンジキを履く。
定高山		〃	積雪目盛りは80～90cm。新潟映彩山岳会の猛者がやって来た。
2名引返し		〃	壺足とカンジキ不具合の男性2名がリタイヤ。一王子小屋で待機することとなる。残り10名で先へ行く。井上氏と映彩3名が先頭でラッセル。途中で映彩3名が脇でラッセル休憩をする。井上氏が先頭で奮闘している。僅かな間、彼に代わって先頭ラッセルを試みる。膝を越える深さである。
6合目引返し	11:20	〃	途中でラッセル休憩をしていた映彩3名が追いついて来て、先を行ってもらおう。後ろから空腹の声あり。引返しを提案する。ちょうど6合目の標識があった。全員写真を撮って下山とする。途中5合目付近で、他の映彩2名に会う。但し此処までで再び小屋で一緒になった。
一王子小屋	12:30～14:25	〃	他のパーティーも居て小屋は満員となる。先に降りた2人がおでんを温めてくれていた。N女が58歳の誕生日でケーキにローソクが立てられた。ご馳走が出るわでるわであった。昨日焼いたパンを皆に食べてもらう。賑やかで楽しい宴会だが、帰りの運転を考え、酒をセーブする。6合目で先に進んで行った映彩3名も油コボシの手前で引返しと聞く。朝先行の単独は不明。しかしラッセル先頭に立ったときにはトレースは無かった。
二王子神社	15:05～15:50	〃	杉林に入ると登山道は地面が出て来た。駐車地点は15cmの積雪となっていた。炊事場で12名が揃って記念撮影。各々が感想を述べあつて山行終了。最後に K の言い出しで雪合戦をし、井上氏を始め、皆に別れを告げる。新発田市街から豊栄付近まで路肩に雪があった。高速利用。
与 板 着	17:55	曇	新潟回りから雪は無くなる。帰宅入浴後、少し遅刻でYHC忘年会に出席。

飯豊春山合同訓練で一緒だった K 女とは石転び入山の際、前泊の天狗平ロッジで偶然再会し、下山では丸森尾根を H 女と三人でともに行動した。彼女の提案でこの山行が立った。井上氏との再会も楽しみで参加することにした。しかし天気予報は悪い。だが、彼がいれば心配は無い。また、メンバー中に H 女もおり、訓練で一緒だった N 女と O 女も居て楽しい再会であった。

標高が上がるにつれて積雪が増し、井上氏も映彩3名が居なかったら6合目まで来れなかっただろうと言っていた。僅かの間、ラッセル先頭に立ってみた。傾斜が増すと上がるのになかなか苦勞をした。手が冷たくならなければ結構楽しい。しかし体力を消耗する。昼食後、座りから立った時、少し足が引き攣った。

